

令和6年度 東久留米市立 南町小学校 学校評価報告書

| | | | | |
|-------------------|---|------------------------|-------------|---|
| 学校教育目標 | ○よく考える子 ○心の豊かな子(今年度重点目標) ○じょうぶな子 | 教育 ビ ジ ョ ン | 【目指す学校像】 | ○挨拶が行き交い、笑顔があふれる楽しい学校 ・子供たちが安心して通うことができる学校 ・楽しさや喜びがたくさんある学校 ・保護者、地域と子供を共に育てる学校 |
| | | | 【目指す児童・生徒像】 | ○共に学び認め合い、主体的に行動する子供 ・自ら考えたり判断したりして、伝え合いながら学ぶ子供 ・自他のよさや違いを認め合い、自分や友達を大切にすること、心身の健康や安全に留意し、粘り強く取り組む子供 |
| | | | 【目指す教師像】 | ○一人一人を大切に、明るく温かく、足並み揃えた指導をする教師 ・子供たちに愛情をもって丁寧な指導をする教師 ・指導力と児童理解力の向上を目指して学び続ける教師 ・教育公務員の自覚をもち、サービスの厳正に努める教師 |
| 前年度までの学校経営上の成果と課題 | 【成果】○一人一人を大切に、温かく丁寧な指導をすることにより、児童アンケートの「困った時に相談できる大人がいる。」の肯定的評価が上がった。 ○体育授業の充実と運動遊びの奨励により、児童の「学校で進んで運動や外遊びをしている。」の肯定的評価が上がった。 【課題】○国語「話す・聞く」の校内研究により、児童が自分の思いを進んで表現しようとする姿が見られるようになったが、様々な場面でより主体的に学習や活動に取り組むように、指導や活動をさらに工夫する必要がある。 ○保護者や地域から信頼される開かれた学校づくりのために、学校行事や保護者参観等、教育活動の公開方法や情報発信を工夫する必要がある。 | | | |

| 東久留米市第3次教育振興基本計画 | | | | 中期経営目標 (令和8年度までの3年間) | 短期経営目標 (1年間) | 評価指標・評価基準 | | 自己評価 | | 学校関係者評価 | | 次年度の方策 |
|------------------|--------------------------|--------------------|-----------------------|---|--|---|--|------|-----|---------|---|--|
| No. | 三つの柱 | 基本施策 | 今年度学校で重点を置く「具体的施策」 | | | 取組指標 | 成果指標 | 取組 | 成果 | 評価 | コメント | |
| 1 | I 人権尊重の精神の涵養と健全な心と体の育成 | 個性を認め合う教育の涵養 | 人権尊重教育の推進 | 人権尊重の理念に基づき、全ての教育活動を通して「相手を思いやる心」「自他の生命や人権を尊重する心」など、心の教育の充実を図る。 | 各教科等及び特別活動など学校教育全体での、自分のよさを実感する経験の積み重ねによる、生きる力や意欲の源となる自己肯定感・自己有用感を育成 | 教職員の十分な取組 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」の肯定的評価 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 4 | 3 | 3.4 | (1)地域行事での子供たちの姿を見ていると、とても素直に育っていることがわかる。児童がほめられていることで、自己肯定感が高まっていることがわかり、それが南町小学校の現在のよいところであると考えている。 | 児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」の肯定的評価は、89%であった。6月より、「ある」と答える児童が増え、「ない」と答える児童が減った。第6学年の全国学力調査の質問紙の同じ質問の肯定的回答は全国や東京都より良い結果である。しかし、「ない」と回答している児童がいることを課題と受け止め、今後も、さらに一人一人が自分のよさを実感する経験を意図的に増やしていきたい。 |
| 2 | I 人権尊重の精神の涵養と健全な心と体の育成 | 個性を認め合う教育の涵養 | いじめ問題への対応 | いじめの未然防止と早期発見及び対応のための組織的な指導・対応体制を確立する。 | 学校生活アンケート等によるいじめの早期発見と対応 いじめ防止授業の実施 | 教職員の十分な取組 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 児童「友達に嫌なことをしていない」「嫌なことをされていない」の肯定的評価 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 4 | 4 | 4 | (1)校長先生の優しく落ち着いた話し方が児童の心に安心感を与えていると思う。 (2)「友達に嫌なことをしていない」「嫌なことをされていない」の肯定的評価が増え、いじめの未然防止と早期発見ができるのは評価できる。 | 児童アンケート「友達に嫌なことをしていない」の肯定的評価は94%、「嫌なことをされていない」の肯定的評価は89%であった。6月より肯定的回答が増えている。今後もいじめの未然防止と早期発見及び対応のための組織的な指導・対応体制を確立する。 |
| 3 | I 人権尊重の精神の涵養と健全な心と体の育成 | 個性を認め合う教育の涵養 | 特別支援教育の充実 | インクルーシブ教育システム構築の理念を推進する。 | 障害理解教育や特文学級との交流学習等を含めた人権教育年間指導計画の実施と充実 | 教職員の十分な取組 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 児童及び保護者アンケート「学校は楽しい」の肯定的評価 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 3 | 3 | 3.4 | (3)特別支援教育は、タブレットを活用するなどとても充実しているが、インクルージョンの更なる充実については、人的な配置などが必要で予算の低減も必要である。今年度は、障害理解教育や特別支援学級との交流学習等を含めた人権教育の充実を図る。 | 「学校は楽しい」の肯定的評価は、児童アンケート90%、保護者アンケート87%であった。障害理解教育や特別支援学級との交流は3学期にも計画されている。次年度は、障害理解教育を年度の前半に実施するように計画し、障害理解教育や特別支援学級との交流学習等を含めた人権教育の充実を図る。 |
| 4 | I 人権尊重の精神の涵養と健全な心と体の育成 | 生涯にわたって育む健全な心と体の育成 | 体育・健康に関する教育の充実 | 継続的な体力づくりの習慣の形成と、健康や体力づくりに関する意欲を高める指導を推進する。 | 体育的行事委員会による計画的な運動遊びの奨励 児童の体力・運動能力の実態に即した、重点的な取組の工夫 | 教職員の十分な取組 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 児童アンケート「すすんで運動や外遊び」保護者「丈夫な子の育成」の肯定的評価 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 4 | 3 | 3.2 | (3)児童同士のコミュニケーションが学年を超えているところがとてもよい。 | 児童アンケート「すすんで運動や外遊び」の肯定的評価は81%、保護者「丈夫な子の育成」の肯定的評価は88%であった。9月に休み時間に自由に使用できるフリスビーやボール等を設置した。次年度さらに継続的な体力づくりの習慣の形成と、健康や体力づくりに関する意欲を高める取組を推進し、運動の日常化の充実を図る。 |
| 5 | II 人生を切り拓き、社会を創る確かな学力の育成 | 確かな学力の育成 | 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 | 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善を進める。 | 全ての子どもにとって分かりやすい授業を行うための、授業のユニバーサルデザイン化 | 教職員の十分な取組 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 児童アンケート「授業の内容はよく分かる」保護者「分かりやすい授業」の肯定的評価 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 4 | 3 | 3.8 | (4)運動会での子供たちの姿がとてもよかった。教員の指導に頭が下がる。 | 児童アンケート「授業の内容はよく分かる」の肯定的評価は91%、保護者「分かりやすい授業」の肯定的評価は87%であった。今後も全ての子どもにとって分かりやすい授業を行うための、授業のユニバーサルデザイン化を推進する。 |
| 6 | II 人生を切り拓き、社会を創る確かな学力の育成 | 確かな学力の育成 | 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 | 算数科での習熟度別指導において、児童の習熟度に応じた指導内容を工夫し、個別指導を充実させる。 | 朝のモジュール学習での東京ペーシックドリルの活用及び到達度の検証と指導の改善 学力パワーアップサポーター等の人材を活用した個別指導 | 教職員の十分な取組 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 第6学年の全国学力調査における算数の平均正答率が都の平均に対して 4:上回る 3:90% 2:80% 1:80%未満 | 3 | 2 | 3 | (6)学力アップのために家庭でできることはなんであるか、学校とともに考えていきたい。 | 第6学年の全国学力調査における算数の平均正答率が都の平均に対して84%であった。今後も「授業改善推進プラン」に基づいた授業改善に努め、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着を図り、学力の向上に取り組む。 |
| 7 | II 人生を切り拓き、社会を創る確かな学力の育成 | 国際社会の担い手を育む教育の推進 | グローバルに活躍できる人材の育成 | 各教科において、言語活動を充実させ、児童のコミュニケーション能力の育成を図る。 | 国語の校内研究を中心とした対話活動の充実 各教科において、対話する場や話し合う場を積極的に取り入れ、表現力を高める学習の充実 | 教職員の十分な取組 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 児童アンケート「思いや考えを人に伝えられる」保護者「よく考える子の育成」の肯定的評価 4:80% 3:70% 2:60% 1:60%未満 | 4 | 3.5 | 3.8 | (7)大きなことは学校で指導いただき家庭でも親が子供に目を通してあげるのが良いのではと考える。 | 児童アンケート「思いや考えを人に伝えられる」の肯定的評価は77%、保護者「よく考える子の育成」の肯定的評価は87%であった。今後も各教科の授業において、ペアやグループでの話し合いを積極的に取り入れ、児童の表現力の育成を図る。 |
| 8 | II 人生を切り拓き、社会を創る確かな学力の育成 | 国際社会の担い手を育む教育の推進 | 地域と連携した教育の推進 | 地域や外部人材の学校教育への参加を推進し、体験活動を充実させる。 | 各学年の教育活動における外部人材や地域の教材の積極的な活用 | 教職員の十分な取組 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 保護者アンケート「期待している水準の教育ができている」の肯定的評価 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 4 | 3 | 3.8 | (8)様々な体験活動は子供の心の成長にとっても大切です。そのためには地域や外部人材を利用して体験活動を充実させることがよい。 | 保護者アンケート「期待している水準の教育ができている」の肯定的評価は82%であった。今後も地域の特色を取り入れた体験的な活動やゲストティーチャーなどの人材を積極的に活用し、地域社会から学び、地域社会に働きかける学習の充実を図る。 |
| 9 | III 時代の要請にこたえる信頼される学校づくり | 持続可能な指導体制の整備 | 組織体としての学校機能の強化 | 学校経営の継続的な改善に保護者・地域と連携した学校評価を活用する。 | 行事の公開や学校公開及び学校HPで教育活動の発信 学校評価及び学校評議員会等の計画的実施と、その結果の公表 | 教職員の十分な取組 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 保護者アンケート「学校により、学校ホームページ等で学校の教育活動が伝わっている」の肯定的評価 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 4 | 2 | 3.2 | (10)一人一台端末もほとんど使われており、すばらしい。 | 保護者アンケート「学校により、学校ホームページ等で学校の教育活動が伝わっている」の肯定的評価は79%であった。学校ホームページで教育活動の様子を配信していることの周知に努めると共に、行事の公開や学校公開及び学校評価の計画的実施とその結果を公表し、学校経営の継続的な改善に努める。 |
| 10 | III 時代の要請にこたえる信頼される学校づくり | 質の高い教育の基盤となる環境の整備 | ICT環境の整備 | ICT支援員、ICT教育推進リーダーによる研修会、校内ICT推進委員会の機能を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを推進する。 | ICT教育推進委員会を毎月開催、ニーズに合った教員のデジタル技術活用研修の実施、資料の電子化による業務時間の短縮とタブレット端末を活用した学習の推進 | 教職員の十分な取組 4:90% 3:80% 2:70% 1:70%未満 | 児童の情報活用能力調査問2で「一人でもできる」が昨年度と比較して 4:5pt向上 3:2pt向上 2:同じ 1:低下 | 3 | 3 | 2.8 | (10)ICTの活用について今の子供たちはSNSで自然にやっている背景もあり調べる・発表するはできるだろうが、実際に見る・行くなどして確かめることも充実させてほしい。 | 児童の情報活用能力調査と同じ項目について学校で前倒しで調査した結果、1年生は、まだタブレット端末の活用の充実には至らず、昨年度より「一人でもできる」が、低下したが、他の学年は昨年度より「一人でもできる」が6ptから40pt向上した。今後も各学年の実態に応じた系統的な指導を計画し、一人1台端末の効果的な活用を推進する。 |